

# 書籍のご案内

## 放射線透過試験実験法

編集：(社)日本非破壊検査協会 編集委員長 仙田 富男  
体裁：B5版, 81頁  
発行：昭和62年7月10日  
定価：本体1,620円+税 (送料別)

現在実施している放射線透過試験のレベルを具体的に向上させるためには透過写真の像質に関与する種々の因子について定量的な検討を加える必要がある。

このため放射線透過試験における下記の主要因子

1. X線フィルムの線量特性
2. 吸収係数
3. 焦点寸法
4. 散乱比
5. 識別限界コントラスト
6. 透過写真の観察条件

について定量的な測定値を求める方法を示した。

また、報告書を作成するために欠くことのできない透過写真の複製方法を具体的に示した。

なお、関係者の御協力により今後さらに内容の充実に努力したい。

以下に目次を示す。

1. X線フィルムの線量特性の測定
2. 吸収係数
3. 焦点寸法の測定
4. 散乱比の測定
5. 識別限界コントラスト
6. 透過度計の識別に及ぼす  
観察条件の影響
7. 透過写真の複製
8. 共通試験
9. 参考資料

以上

放射線透過試験実験法

1987 .....

監訳 日本非破壊検査協会